

2025年度技術研究開発賞選考発表会および 第78回中部電力技術研究発表会 開催

2025年11月28日（金）、「2025年度技術研究開発賞選考発表会（以下、開発賞）」および「第78回中部電力技術研究発表会（以下、発表会）」を開催しました。

開発賞については当社や地域社会または科学技術の進歩に貢献した研究に対し表彰をもって賞揚し、士気の高揚と成果の周知活用を目的に、発表会については技術の向上、事業所・部門間の技術交流、ならびに研究意欲の向上を目的に、毎年開催しています。（受賞結果は別表参照）

開会にあたり、林社長が挨拶され、『「第7次エネルギー基本計画」などで示されているとおり、データセンター需要や、脱炭素に向けた電化の推進などにより、電力需要は増加していく傾向にあります。こうした中、当社グループは、引き続き、安定供給に努めつつ、GXの実現に向けた取り組みを進めているところであります。

一方、当社を取り巻く事業環境は刻々と変化しております。電気事業における制度の見直しや競争の激化、DXの進展、お客さまニーズの多様化など、いずれも当社が取り組むべき課題と密接に結びついており、対応を複雑にしております。このような中、みなさんには、先輩方が築き上げてきた技術力をベースに、新たな技術の導入に向けて研究を進めていただいております。AIの進展に象徴されるような新しい分野の研究や、グループ会社、取引先との共同研究など、新たな取り組みが増えてきていることは大変頼もしく、当社のさらなる成長につながっていくものと確信しております。本日の発表会は、「グループ全体の経営に効果を発揮する研究開発の成果、また、地域社会へ貢献した技術研究開発の成果、そして、グループ全体の事業にかかわる科学技術の進展に貢献した研究だと認められるもの」を発表する場です。みなさんのこれまでの努力、そして、技術力の高さを大いに披露してください。

今後は、当社の技術力を磨いていくだけではなくて、社会の様々な人や組織と新たな価値を生み出すために「共創」することや、「オープン・イノベーション」のようにお互いの技術や知識を融合させていくことが非常に重要になると思います。交流を通じて研究成果をさらに発展させ、新たな価値や技術革新を生み出していくことを期待しています。

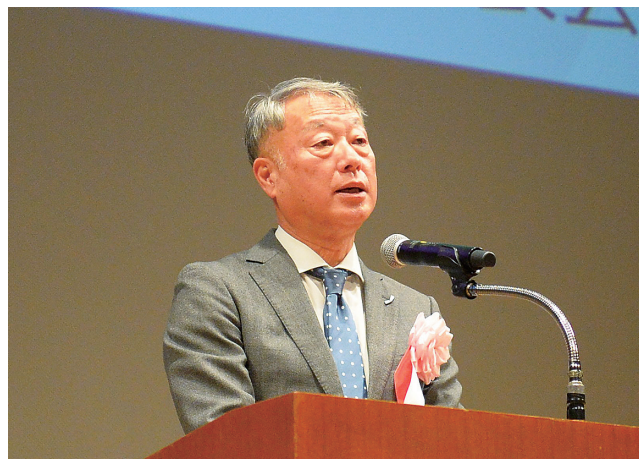
今年4月に新たに策定した企業理念には、お客さまや地域、地球に暮らす全ての人たちとともに、エネルギーに満ちた明るく幸せな未来を創造していくという、私たちの思いが込められております。みなさんが未来志向で技術力を磨きあげ、周りとの交流で社会に役立つ技術を産み出し、新たな価値を作り上げていく、これがまさに企業理念そのものだと思っております。これからも前向きに思いっきりチャレンジしてください。』との技術開発に期待するメッセージが伝えられました。

閉会式では、野田技術開発本部長から、『お客さまの課題に取組み、解決し、社会実装につなげた研究や、現場目線を大切にした研究、DXの手法を用いて、コストダウンを意識した研究などが評価されました。当社の経営理念をよく理解し、自らの業務において広い視野で実践していただいていることは、非常に心強く思います。持続可能な社会を実現していくには、当社におけるGX with DXを推進していくことが重要であると考えます。当社は、DXをはじめとする新たな分野との融合を図りながら、エネルギーに満ちた明るく幸せな未来の創造に挑戦し続けるという、役割を果たしていきたいと思っております』との講評をいただきました。

今年も多くのお客さまのご協力により、無事に開催できました。ご協力ありがとうございました。



林社長



野田技術開発本部長

2025年度 技術研究開発賞 受賞結果

賞詞名	件名	所属	氏名
社長賞	排水由来の廃棄物低減を実現する エマルジョン分離装置の開発	中部電力ミライズ株式会社 ソリューション事業本部 ものづくり革新部	杉山 玲衣 田中 良
本部長賞	間接活線工法移行に向けた 工具・用品開発に関する研究	中部電力パワーグリッド株式会社 エンジニアリングセンター 用品開発グループ	宮澤 啓太 羽柴 史員
優秀賞	高温環境下の作業改善と品質管理に 貢献する各種工場向け自動温度 計測システムの開発	中部電力株式会社 技術開発本部 先端技術応用研究所 先端技術ソリューショングループ	棚橋 尚貴 藤本 貴之
		中部電力ミライズ株式会社 ソリューション事業本部 ものづくり革新部	高木 健富
	飯田マイクログリッド実証研究	中部電力株式会社 技術開発本部 電力技術研究所 電力品質グループ (* 現 中部電力パワーグリッド 系統運用部 系統技術グループ)	山口 遼* 榎本 熱
		中部電力株式会社 経営戦略本部 戦略グループ	大西 宏明

第78回 中部電力技術研究発表会 受賞結果

【ステージ発表の部】

賞詞名	件名	所属	氏名
最優秀賞	鉄塔を活用した新たなスマートメーター 通信対策の実現	中部電力パワーグリッド株式会社 配電部 配電系統高度化グループ	山崎 勉 水田 創 松本 成晴
優秀賞	転送送信盤自主製作による 工期短縮に向けた取り組み	中部電力パワーグリッド株式会社 半田支社 変電グループ	國立兼士郎 川野辰太郎 田重田優樹
	生成AIを用いた議事録AIアプリの開発	中部電力株式会社 技術開発本部 先端技術応用研究所 情報技術グループ	追良瀬利也
		中部電力株式会社 DX推進部 DX推進グループ	近藤 正大 加川 功己
	マイクロ波多重無線装置の フレネルゾーンにおける 支障木判定方法の確立	中部電力パワーグリッド株式会社 岐阜支社 岐阜通信センター 運用グループ	田中 良樹
		中部電力パワーグリッド株式会社 高山支社 送電グループ	松岡 英宣

その他4件は奨励賞

【ポスターセッションの部】

賞詞名	件名	所属	氏名
最優秀賞	海ノ口水力発電所における 設備評価・運用手法の見直しによる 資産価値向上について	中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー 長野水力センター 業務課	水野 雄紀 保谷 匡
優秀賞	配管半割を不要とする除染および 汚染測定技術	中部電力株式会社 技術開発本部 原子力安全技術研究所 プラントグループ	吉田健一郎
		中部電力株式会社 浜岡原子力発電所 廃止措置部 廃止計画管理課	海野 峻行
	銅線用直線スリーブの改良	中部電力パワーグリッド株式会社 エンジニアリングセンター 用品開発グループ	熊谷 彰人 難波 秀文
	伐採重機の先端工具「クアッドソー」開発	中部電力パワーグリッド株式会社 静岡支社 配電運営グループ	佐野 佑磨

その他6件は奨励賞



技術研究開発 社長賞



技術研究開発 本部長賞



技術研究開発 優秀賞



技術研究開発 優秀賞



中部電力技術研究発表会ステージ発表の部 最優秀賞



中部電力技術研究発表会ステージ発表の部 優秀賞



中部電力技術研究発表会ステージ発表の部 優秀賞



中部電力技術研究発表会ステージ発表の部 優秀賞



中部電力技術研究発表会ポスターセッションの部 最優秀賞



中部電力技術研究発表会ポスターセッションの部 優秀賞



中部電力技術研究発表会ポスターセッションの部 優秀賞



中部電力技術研究発表会ポスターセッションの部 優秀賞

第70回渋澤賞を受賞

第70回（令和7年度）日本電気協会渋澤賞贈呈式が11月18日、東京都千代田区の東京商工会議所渋沢ホールで開催され、賞状が受賞者に贈呈されました。

渋澤賞は、故 渋澤 元治博士が昭和30年に文化功労者として表彰を受けられた栄誉を記念し、昭和31年に創設され、電気保安に優れた業績を上げた方々を対象に表彰するもので、各界より広く認められる権威ある賞です。

今回は、発明・工夫、設計・施工部門として、「スキルレスな管路位置測量装置の開発」で、熊澤 昌宏さん（技術開発本部 電力技術研究所）、真鍋 祐矢さん（経営戦略本部）、竹内 健一さん（(株)シーテック 電力本部 地中線部）が受賞しました。

受賞技術は、小型のジャイロセンサを用いて、地面に埋設されている電力ケーブル用管路の位置を特定するもので

す。これまで専門会社で実施した測量を保守会社で実施できるようにすると共に、精度の良い3次元測量により、施工日数を半減させたことが高く評価されました。



左から(株)シーテック 竹内さん、電力技術研究所 熊澤さん、経営戦略本部 真鍋さん

日本材料学会第74期学術講演会「優秀講演発表賞」を受賞

2025年5月31日・6月1日に日本大学工学部で開催された日本材料学会第74期学術講演会において、電力技術研究所 材料化学グループの中山歩美さんが「優秀講演発表賞」を受賞しました。

本賞は学術講演会で特に優れた発表に授与されるもので、35歳未満で一度のみ受賞できる名誉ある賞です。今回は89名の候補者のうち8名が選出されました。博士課程在学中または博士号取得直後の候補者が多い中での受賞は、2026年4月から博士後期課程へ進学する中山さんにとって大きな励みとなりました。

受賞発表「透過X線ラウエ法を用いたNi基単結晶超合金における再結晶検出技術の検討」は、発電用ガスタービン・航空機エンジンの性能や安全性のカギを握るタービン

ブレードの信頼性向上に資する世界初の成果として高く評価されています。関連成果は2026年春に複数の国際会議で発表予定です。



電力技術研究所 材料化学グループの中山さん

雨の衝撃を見える化! エコプロ2025で「加速度式雨滴衝撃計」を紹介

電力技術研究所は、2025年12月10～12日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2025」に出展し、東京農工大学と共同開発中の「加速度式雨滴衝撃計」を紹介しました。

本技術は送電鉄塔下の緑化を妨げる雨滴の衝撃力を数値化するために開発に着手し、従来の雨量計測ではわからなかった「雨のエネルギー」をリアルタイムで測定できるのが特徴で、活用先拡大に向けデータの遠隔監視が可能なIoT対応や広域計測も視野に入れています。

展示では雨を降らせて計測を実演し、ブースに訪れた方からは「雨の強さを見える化できるのは革新的」「こんな分野で使ってみたい」というアイデアも多数寄せられ、ブースは終始賑わいました。

※本技術の詳細は、P.41,42を参照



スマート工場EXPOに出展 改善ソリューションに多くの反響

先端技術応用研究所は、2026年1月21日～23日に東京ビッグサイトで開催された「スマート工場EXPO」に出展し、工場現場の課題をデータ解析で改善するために開発した「MiEL Thermo HT」や「MieruTIME OILMIST」などの技術を紹介しました。

「MiEL Thermo HT」は、遠隔やガラス窓越しでの高精度温度計測が可能で高く評価され、鋳造・熱処理工程などへの適用を検討する来場者から具体的な相談が寄せられました。

また、「MieruTIME OILMIST」は、オイルミストや粉塵の濃度や温湿度を無線で容易に可視化でき、環境改善に寄与する点が評価され、その応用として省エネとなる空調・給排

気制御システムと連携した運用への関心も寄せられました。

会期中にいただいたご意見や要望を踏まえ、今後もさらなる技術向上に取り組んでいきます。



MieruTIME

OILMIST



MiEL Thermo HT

「ちゅうでんサイエンス・フォーラム2025」を開催

原子力安全技術研究所は、「ちゅうでんサイエンス・フォーラム2025」を、7月26日に浜岡原子力発電所の地元である御前崎市民会館で開催しました。

このフォーラムは、原子力の安全性向上、安定供給および新たな価値の創出を目指した研究成果を地域の皆さまに紹介するイベントです。12回目となる今回は350名のお客さまにご来場いただきました。

公募研究の成果発表や著名人による特別講演、会場の中高生から特別講師への質問コーナーやクイズ、エンディングでの抽選会など、来場者が楽しめるイベントを多数実施しました。今回は、次世代を担う中高生の皆さんに研究への興味を持っていただくため、研究成果発表タイトルを身近に感じられる分かりやすい表現とし、来場者の探求心をくすぐるよう工夫して取り組みました。来場者からは「楽

しかった、また来たい」との声をいただき、フォーラムは成功を収めることができました。



ポスターセッションの様子

公募研究「第13回目 2025年度研究開始」について

中部電力は、原子力発電の推進と利用に必要な将来技術・新技術の研究開発を強化し、原子力の未来を担う人材育成にも貢献したいと考えています。

この目的のもと、原子力安全技術研究所では、広く原子力安全に関する研究テーマを公募し、大学や研究機関と連携した研究を進めています。

今回で13回目となる公募では、33件の応募をいただき、社外の学識経験者による選考委員会での書類・プレゼン審査を経て、8件を採択しました。

これまでに採択した研究の件名は、中部電力のホームページで公開しています。

公募研究の成果には、浜岡原子力発電所への適用が期待されるものや社会実装が見込まれるものが含まれ、特許の取得や学会での発表も多数行っており、有意義な取り組みと考えています。

公募研究へご興味のある方は、二次元コードからアクセスしてください。



＜至近採択実績＞

第13回目 2024年度募集実施・2025年度より研究開始、33件中8件採択

研究の領域（分野）	研究件名	研究代表者（敬称略）
領域1 原子力の将来技術に資する基礎基盤研究	次世代原子炉用核計装を目指した高温中性子検出半導体の開発	静岡大学 中野 貴之
領域2 原子力の安全性向上に資する研究	粗大粒・溶接部に適したオンサイト残留応力測定技術の実証的研究	静岡大学 坂井田 喜久
	廃止措置プラント材の有効活用を見据えた組合せ照射技術の高度化	東京大学 村上 健太
	3次元ひずみ解析による原子炉压力容器の寿命回復温度の探索	東北大学 吉田 健太
	不純物アニオンフリーなSCC発生試験法の確立と压力容器鋼のSCC発生臨界条件の解明	東北大学 阿部 博志
	損傷を有するあと施工せん断補強RC部材の耐荷機構の解明と構造健全性評価法の提案	横浜国立大学 小松 怜史
	災害訓練におけるノンテクニカルスキル相互評価モデル構築とアイトラッキングを活用した定量評価	順天堂大学 水野 信也
領域4 浜岡原子力発電所3、4、5号機の保守性・作業性の向上に資する研究	テキストとグラフ構造を併用したマルチモーダルAI構築手法の確立	東京大学 出町 和之

「テクノフェア2025」を開催

2025年10月29日（水）～31日（金）の3日間（内覧会含む）、中部電力グループの幅広い技術研究開発の取り組みを紹介するため、「テクノフェア2025」を開催しました。

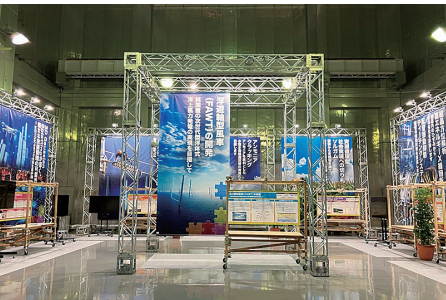
今回は「イノベーションのタネ」をテーマに掲げ、DXや最新の再エネ技術など幅広い分野の技術研究を計86展示で紹介し、3日間で企業・研究機関・大学などを中心に2,900名以上のお客さまにご来場いただきました。

本展示会は、未来のイノベーションに向けて共に挑戦する共創パートナーさまとの出会いを深め、新たな可能性を共に探求する機会となりました。

当社では引き続き、脱炭素社会の実現をはじめ、お客さまや社会とともに持続的に成長するための技術研究開発を推進して参ります。

今後の展開にもぜひご期待ください。

「テクノフェア2025」の様子



見どころ展示



海からの力：浮体式洋上風力と波力発電の革新



配管振動、もう怖くない！



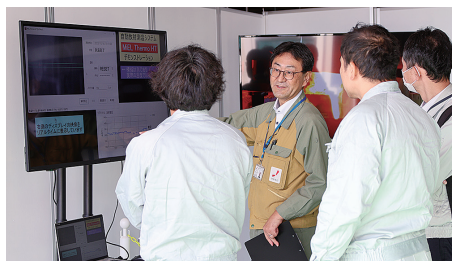
3D Gaussian Splattingが導く、新たな設備管理の可能性
～ドローンによる3D自動生成手法～



雨の新指標：エネルギーで見る降雨
～加速度式雨滴衝撃計の開発～



海底の観測機器で迫りくる津波を予測する



被加熱物温度計測の高精度化と自動化で、
製造現場のDXに貢献



海藻で描く地球の未来：Blue Carbonの可能性



テレビ局の取材を受ける所員

過去の展示内容は、当社ホームページからご覧いただけます。

https://www.chuden.co.jp/seicho_kaihatsu/kaihatsu/techno/



技術開発ニュースバックナンバー

過去号は、技術開発ニュースライブラリーサイトからご覧いただけます。

https://www.chuden.co.jp/seicho_kaihatsu/kaihatsu/news/



お問い合わせフォーム

当社の開放特許や研究内容に関するお問い合わせはこちらからご連絡ください。

※本誌掲載情報の著作権は当社に帰属します。

転載を希望する場合は、その旨を必ずご連絡ください（無断転載禁止）。

https://www.chuden.co.jp/fag/inquiry/inq_kenkyu/

